

普遍的無意識の傍証への一試み

— ファンタジーグループのテーマを手がかりに —

岡田 康伸

I. 初めに

1. ファンタジーグループからのデータ

われわれは1977年以来、ファンタジーグループを主催し、ファンタジーグループの経験をつみ重ねてきている。ファンタジーグループに関しては文献を参考にしてもらおうとして、ここでは、普遍的無意識への接近法の一つとして使用しようとしているファンタジーグループの2つの作業について言及しておきたい。この2つの作業はフィンガーペインティングと切り絵であり、これらは1グループが5-6人で構成されたグループワークである。これらの作業は無言である。作業後はこの作業中にこころに生じてきたことや起こったことをメンバー間で徹底的に話し合う。ファンタジーグループでは始めに、フィンガーペインティングをする。これは粉絵の具を乳鉢に入れ、乳棒でこねて、膠液で溶いて、適度な濃うさにして、それを指や手につけてケント紙に描いたり、塗りたいくったりする。この作業後の話し合う中で、上下を決め、題名をつける。切り絵の場合も同じである。切り絵は前日に作られたフィンガーペインティングの作品をちぎったり、はさみで切って、新しいケント紙の上に貼って、何か作品を作る。

われわれは話し合いのなかでつけられる題名に注目した。メンバーが体験したことに基づきながら、そこにある作品を鑑賞しながら、そのときの作業のさまざまな経験を加味して、題名

はつけられる。各作業の後に、全体で、各グループの過程とその題名についてと体験などを各メンバーが説明をする全体の見回りの時間があるが、それを聞いていると、なるほどと題名に納得がいく。ファンタジーグループを何度も体験してきている中で、われわれは題名に普遍的なものとその時のグループの体験が勝っているものとその時の社会のトピックスが反映されている場合などがあるのではないかと考えた。これはぜひ確かめてみる価値があると思う。また、このことは本論文のテーマにしたように、普遍的無意識への証明になるのではないかと考えた。ファンタジーグループの体験がこのようなテーマを発想させたのである。

また、日本で、現在行われているわれわれの仲間の他の3つの研究会（仙台と東京と松山）にそこでチェックされている、保存されている資料の応援を依頼した。その時、寄せられた手紙に興味深いことで、我々の立場を表わしているものがあつたので、少し長くなるが、ここに示しておく。藤崎義宣氏の言葉である。「ファンタジーグループは、魂の錬金術的プロセスを体験するグループワークである。このグループのプロセスの中で、魂はイメージによって自分を現し、人はそのイメージによって自分と他人を新しい目で見るができるようになる。…元型的なイメージがフィンガーペインティングや切り絵（切り貼り）に現れてくるが、同じ共通の普遍的テーマを持ちながら、毎回違うイ

メージとファンタジーが体験される。テーマとして書けば、一見マンネリなテーマの羅列となるが、同じテーマやモチーフが現れても、一つ一つの体験やニュアンスは異なっている。」と。筆者もこのような立場に立ちながらこの論文を書いている。

2. 普遍的無意識とは

普遍的無意識(集合的無意識と呼ぶ人も居る)とはユングが主張した概念であり、フロイドが無意識は個人的なものだけに考えたのに対して、無意識には民族全体、すべての時代全体にわたって共通するものもあることを主張した。つぎのように定義している。「一個人ではなくて、同時に多くの個人、すなわちしたがって一社会、あるいは一民族、あるいは人類に固有である心的内容を集合的と呼ぶ」と。これはフロイドの考えと異にするひとつであり、ユング的なものである。馬場謙一は「普遍的無意識は個人的無意識よりも深くて心の真の基礎をなし、元型によって満たされているという。この元型とは無意識の内部に先験的に与えられている表象可能性であり、それが意識化されたものを元

型的心像と呼ぶ。元型は人類に普遍的に共有されているところから、それらの表象としての夢や神話が民族の違いを超えて類似することとなる。」普遍的無意識を考えて初めて、元型という概念もでてくる。すなわち、普遍的無意識に、先天的に備わっているイメージを作り出す基があると考えたのである。この考えを広義に考え、ファンタジーグループの題名を決定してもらった時にでてくる題名に適応すると、グループの特徴に限られるような題名は個人的なものと考えられる。また、その題名が個のグループを超えているような、共通するような題名の時は普遍的なものと考えられよう。その作品はグループメンバーにとっては何か元型的なものとの関わりがあったと考えているのかもしれない。

Ⅱ. 結果と考察

ファンタジーグループのフィンガーペインティングと切り絵の題名は第1表である。表1は4つの会場ごとに集計してある。4つの会場での特徴があるかもしれないが、今回は考察の対象にはしていない。

表1-1 京都のフィンガー・ペインティングと切り絵のテーマ (1/2)

	フィンガー・ペインティング	切り絵
79年6月 京都	創世	陰と陽
	灰色のインベーター	宇宙をのみこんだ魚
	宇宙源(?)	PaPuPaPu
	手	はじまり
	海底火山	深海の夢
79年12月 京都	なんともちょっと	まひる
	それぞれ	光への階段
	生命の森	いこい
	これから	失われていない世界
	はじまり(地獄と鍾乳洞)	海底, パンドラの箱
	おののき(夜の道)	ゆめ
	葛藤	天国と地獄
	ころろがわり	執念
	火山	森に行けば
新しい世界への期待	新しい世界から現実へ	
80年5月 京都	中間報告での問題点	事前協調は無力
	まじめ人間	胎動, 生命, 生きる, 秋○山
	くもの糸	昼から夜へ
	フェニックス-燃える宇宙-	不死鳥-豊かなる海へ-
	もっと光を	皆生きている
	みんなの手	気球に夢をのせて~海よりも高く伸びよ生命へ~
	光の滝	風
	遥かな夢	南の海
	稲穂と花火	未来へのひろがり
80年11月 京都	何処へ	やっぱり何処へ
	光の舞	そらへの飛翔
	はじまり	出会い
	混沌の中の秩序	大混乱からの湧出
	夢の中のこもれば	昔楽苑
85年11月 京都	1つの題なんて嫌だ	はじけ
	春の祭典	強きもの
	生々流転	道
	叫び	飛翔
	決めたくない	風
	濁流	思案橋
	途上	焼きいも
93年11月 京都	誕生…	Sun2 と…
	躍	慈
		四歩 (yompo)
	憤(ふん)	パンセソバージュ(野性の思考)
	おい鳥よ、~(?)!	Spring
94年12月 京都	隕石	喰いちらかし
	鳥(トリ)	やさしい(gentle)庭
	Falling Angel	(つけられず)
	0.005秒前	さんどう(参道, 産道)
	眠	噴起
	時(とき)	磯に打ちよせられて…一時の果てに—
	期待	ゆらぎ
	何でやねん?鳥もいたね 森もあったね そして、誰もいなくなった	こんでえーねん—そして、皆帰ってきた—

表1-1 京都のフィンガー・ペインティングと切り絵のテーマ (2/2)

	フィンガー・ペインティング	切り絵
96年11月 京都	すでに始まっている	宇宙の遊園地
	神話	おへそのたび
	幕開け	あちちでピー、おしりに火がついた
	転生	私もいるの
	これから	“あばら”の森
	あたためる	Awaying under the sea
	それでも飛ぶぞ	「よお釣れまっかー?」「ぼちぼちでんなあ」
97年11月 京都	よくミロ	清末和変 (?), 風の道
	太古の胎動	湧きあがる
	冬の気配	今脱皮しました
	離陸	地球 (ガイア) の X'mas
	今にみとれ	ポーン
	二百八日	台風ランド
	いのちのき (木, 気)	起死回生
98年11月 京都	翔ぼうとしている孔雀	悲しい天国か? 楽しい地獄か?
	星祭り	寄港地
	気づかひの乱舞	べろべろばあ～
	胎動	祝福
	こころ, 夜, 宇宙	生まれいずるもの
	Uni, Birth (ユニバース)	喰惑鳥の襲撃
99年12月 京都	上昇	Never Never Island
	ぬくい手”一致の危険性とあえたうれしさ	男一人女四人物語
	兵 (つわもの) どもが夢のあと	Over the Dream !
	カオス, とちゅうやろ!	ゆうえんち
	炎上	じゅじゅじゅ
	可能性	異なる観点からの2つの題①海遊ゆうゆう ②小さな観点からのひろがり
00年11月 京都	小宇宙のこれから	テーマパークで遊ぼう～芽吹くエネルギー～
	火の鳥の復活	光を求める金魚
	みかん (ミカン, 未完) の太陽	海幻想
	いずこへ	遊びましょう
	渦中	這う
	個から混 そして和への彩り	海の遊園地
02年11月 京都	地底のイヴ	よみがえった楽園
	流神	空と大地の間, 抑制
	力強さとやさしさ ーいのちの旅立ち	夢でみた世界, 海底の春
	消化不良でええねん!	パラボラアンテナのある幼稚園
	踊る火の鳥	はじまりの海 キラキラとイキイキと わたしたちの遊園地
	昔海だった森	塔 (倒) 木のしずんだ海
07年12月 京都	混沌からはじまり…	夢の国へ, 黒から白へ, すっきり, はじまり
	生まれいずる	生命
	言葉にならない想い あなたは何がみえますか	見まもる～生と死と誕生～
	赤ずきんちゃんを探して～森の奥へ～	赤ずきんちゃんとゆかいな怪物たち～海の底から～
	天龍降臨	天龍輪舞 (ロンド)

表1-2 仙台のフィンガー・ペインティングと切り絵のテーマ

	フィンガー・ペインティング	切り絵
96年 仙台	歓喜 宇宙華 夢の途中で ひまわりよみがえる 空へ 大いなる意志	悲しきピエロ 宇宙のメルヘン 生命の気づき 不滅 風わたる ファンタジー
98年 仙台	和輪わぁ～ 賢治の世界 生命の流れ エネルギーの爆発 再生 一個を尊重し、溶け合うエネルギー Zero 始	Yes, We can. 銀河の風 たぬき作 流れ 整合 雲の上の遊園地 無題 湧く
99年 仙台	生命のハーモニー 傷ついても光へ マドンナ, 桃色の華 泡輪 (あわわ) 生まれいずるもの 春, かくれんぼ	迷想創 希望 ランディング, 浮遊花 アワワワワワ 好奇心 春野遊
01年 仙台	あたりまえのこと 不完全燃焼 山 ためいきと希望 思いがけない宇宙の渦 死生島	湧きあがる深海 海→木→空 春野山 (車窓の桜) ゆうえんち 見出された道 山の懐 (ふところ)
04年 仙台	不死鳥, 一等 おとぼけ? 生命の国 古代ちゃん 夜の海, 月とすっぽん 愛を叫ぶ	深海から未来へ 旅たち ふたたび Repeat and Recover ざわめき ケンカ, 今はじまる, (裏に) 神の手が今のべる 海底の散歩, (裏に) 海底の神秘 巡礼
05年 仙台	光を浴びて 無から有への創造 天地の木と花びら 早すぎた花火 あなたは何がみえますか 潜在力 potential	道標 赤い? 芽ばえ 西国 龍と緑の太陽 深世界 variety in unit
06年 仙台	火の鳥 水辺の春の風 火の山 はっぴい～・ムンク 遊び心の国	杜 (もり) 楽しいな♡ タコと共にうぞーむぞーが出て来た (楽園) つながり, (ありがとう), つなぐ みんなと未来で“遊ぼう”
07年 仙台	湧きあがる, 土ネルギー, ふりそそぐ, 季節 レインボー, かたつむり 「 」 春 旅立ち 混沌から生まれた宇宙 リセットに 抗して	心オープン 遊園地とジャングル であいの空間 光と影 快談 (かいだん)
08年 仙台	わ～静かに渦まく～ 鼓動 誕生の予感 いのちあそぶ 無限大 つづく	エネルギーパーク 配慮の試合 風 出あえて あなたに出会えてよかった みち…

表1-3 東京のフィンガー・ペインティングと切り絵のテーマ

	フィンガー・ペインティング	切り絵
02年 東京	神話 一生まれいずる国	
	月の誕生	
	反撥と調和	
05年 東京	飛翔	…
	誕生	火の鳥
	花園と春の風とぶ	もうすぐ春ですよ
	たま	いのちのフルコース
07年 東京	未来へ飛翔する鳥	赤と青のワンダーランド
	誕生 (明日へ)	太古の大地
	白	飛翔
	燃える, 燃えている	然—あるがまま—
08年 東京	花束を抱える人	生命の祭典 (6人を探せ)
	香木…	海仲 (ちゅう) world
	こうま座	ぼくらの秘密基地「竹がみそ」

表1-4 松山のフィンガー・ペインティングと切り絵のテーマ

	フィンガー・ペインティング	切り絵
99年 松山	成熟	エネル樹
	大宇宙	夢のかけはし
	夜明け	無題
	宇宙庭園	花束
	これから…	のびる
	怒りのなか	いずみの守り神 (生命の守り神)
	胎動	love コール
08年 松山	ありがたや	風にまっつて
	闘いに備えて	行くぞ
	悠久のらせん絵巻	飛翔
	嵐を呼ぶ女	生きてりゃいいさ 万才!!
	流れ	つながってひろがって…, 安心…

表1-5 いのちの電話全国研修会のフィンガー・ペインティングのテーマ

	フィンガー・ペインティング
08年 いのちの電話	花とこころのファンタジー
	再生
	魅知八の第一歩, 魅
	森のエネルギー
	秋の原野から見上げた空

これらをもとに普遍的なテーマと筆者が考えたフィンガーペインティングのテーマ及び多く

つけられた題名は第2表である。

表2-1 フィンガー・ペインティングで多い題名

火	海底火山	春	春の祭典	
	火山		春, かくれんぼ	
	稲穂と花火		花園と春の風とぶ	
	火の鳥の復活		水辺の春の風	
	踊る火の鳥		春-旅立ち	
	早すぎた花火			
	火の鳥			
燃	火の山	はじまり	はじまり (地獄と鍾乳洞)	
	フェニックスー燃える宇宙ー		はじまり	
	不完全燃焼		混沌からはじまり…	
灸	燃える, 燃えている	始	すでに始まっている	
	炎上		始	
宇宙	宇宙源 (?)	光	もうと光を	
	フェニックスー燃える宇宙ー		光の滝	
	宇宙華		光の舞	
	宇宙庭園		傷ついても光へ	
	小宇宙のこれから		光を浴びて	
	思いがけない宇宙の渦	流	生々流転	
	混沌から生まれた宇宙		濁流	
	ーリセットに抗してー		生命の流れ	
			流神	
	(ユニバース)	(Uni, Birth (ユニバース))		流れ
	鳥	おい鳥よ、～ (?) !	混沌	混沌の中の秩序
		鳥 (トリ)		混沌から生まれた宇宙
何でやねん? 鳥もいたね 森もあった ねそして、誰もいなくなった		ーリセットに抗してー		
火の鳥の復活			混沌からはじまり…	
死生鳥		カオス	カオス, とちゅうやる!	
騙る火の鳥				
不死鳥, 一等		動	太古の胎動	
火の鳥			胎動	
未来へ飛翔する鳥			胎動	
フェニックス			鼓動	
誕生	誕生…	飛翔	飛翔	
	誕生 (明日へ)		未来へ飛翔する鳥	
	誕生の予感	翔 飛	翔ぼうとしている孔雀	
			それでも飛ぶぞ	
birth	Uni, Birth (ユニバース)	森	生命の森	
生まれいずる	生まれいずるもの		何でやねん? 鳥もいたね 森もあった ねそして、誰もいなくなった	
生まれた	生まれいずる		昔海だった森	
	混沌から生まれた宇宙		赤ずきんちゃんを探して	
再生	ーリセットに抗してー		～森の奥へ～	
転生	再生 一個を尊重し、溶け合う エネルギーー	山	海底火山	
いのち	転生		火山	
	いのちのき (木, 気)		山	
	力強さとやさしさーいのちの旅立ちー		火の山	
生命	いのちあそぶ	夢	遥かな夢	
	生命の森		夢の中のこもれび	
	生命の流れ		夢の途中で	
	生命のハーモニー		兵 (つわもの) どもが夢のあと	
	生命の国			

表2-2 フィンガー・ペインティングで多い題名

夜	おののき (夜の道)
	こころ, 夜, 宇宙
	夜明け
	夜の海, 月とすっぽん
海	海底火山
	昔海だった森
	夜の海, 月とすっぽん
渦	渦中
	思いがけない宇宙の渦
	わ~静かに渦まく~
エネルギー	エネルギーの爆発
	再生-個を尊重し、溶け合うエネルギー-
	湧きあがる, エネルギー, ふりそそぐ, 季節
木	いのちのき (木, 気)
	天地の木と花びら
	香木・・・

「火」や「宇宙」や「鳥」や「混沌」などが挙げられていた。火および鳥の作品は図1, 2である。

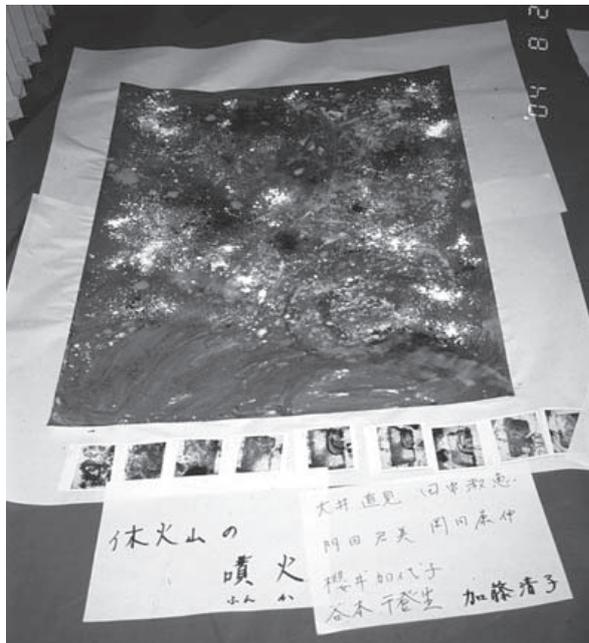


図1. 「火」と分類されたフィンガー・ペインティングの一例 (但し、表にはない。)

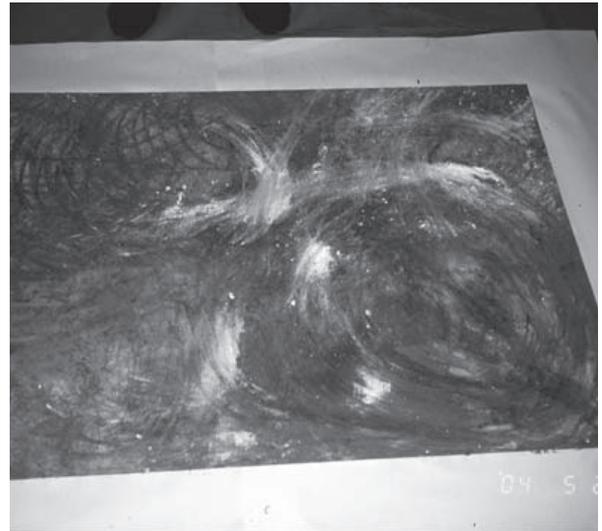


図2. 「鳥」と分類されたフィンガー・ペインティングの一例

火や宇宙が多く名づけられた。混沌は切り絵には見られないものと言えそうである。これらの分類は明確にされるものではない。境界的なものも多く、普遍性を含んでいると推測されるものも他にもある。たとえば、「賢治の世界」と題されているものは宮沢賢治の世界が普遍性をもったものであり、これは普遍的なものであろうとも考えられるが、ここでは普遍性なものに入れていない。また、くもの糸も芥川龍之介の作品名であり、同じようなことが考えられる。どちらにもいれられそうなものもある。たとえば、「とき」や「どこえ」や「期待」や「手」などもそうである。また、戦いや怒りなどのテーマに関係しそうだと思われるものは普遍的なものであろうが、これらもここでは普遍性の中に入れていない。第1表にあげているものをご批評ねがいたい。

第1表より、非普遍的と考えたものはたとえば、「今に見とれ」である。これらと関係してくるものに、「途上」や「消化不良でもええねん」と繋がりそうである。駄じゃれのてきで、語呂合わせ的なものに、「墳」や「よくミロ」や「和輪わあー」(わの駄じゃれ)や「泡輪(あわわ)」などがある。ユーモアのあるものである。

第3表は第1表から、切り絵に関して、筆者が普遍的なものと考えたテーマおよび、切り絵

の題名の多いものを抜き出したものである。

表3-1 切り絵で多い題名

海	深海の夢
	海底、パンドラの箱
	不死鳥 一豊かなる海へー
	気球に夢をのせて～海よりも高く伸びよ生命へ～
	南の海
	異なる観点からの2つの題①海遊ゆうゆう
	②小さな観点からのひろがり
	海幻想
	海の遊園地
	湧きあがる深海
	海一木→空
	夢でみた世界、海底の春
	はじまりの海 キラキラとイキイキとわたしたちの遊園地
	塔(倒)木のしずんだ海
	深海から未来へー旅たちー
	海底の散歩、(裏に)海底の神秘
	赤ずきんちゃんとゆかいな怪物たち～海の底から～
	海仲(ちゅう) world
sea	Awaying under the sea
遊園地	宇宙の遊園地
	雲の上の遊園地
	海の遊園地
	はじまりの海 キラキラとイキイキとわたしたちの遊園地
	遊園地とジャングル
ゆうえんち	ゆうえんち
	ゆうえんち
遊ぶ	テーマパークで遊ぼう～芽吹くエネルギー～
	遊びましょう
	みんなと未来で“遊ぼう”
遊	ランディング、浮遊花
	春野遊
	異なる観点からの2つの題①海遊ゆうゆう
	②小さな観点からのひろがり
生命	胎動、生命、生きる、秋○山
	気球に夢をのせて～海よりも高く伸びよ生命へ～
	生命の気づき
	いずみの守り神(生命の守り神)
	生命
	生命の祭典(6人を探せ)
いのち	いのちのフルコース
生きている	皆生きている
生きる	生きてりゃいいさ 万才!!
	胎動、生命、生きる、秋○山
生	起死回生
	見まもる～生と死と誕生～
生まれいずる	生まれいずるもの

風	風
	風
	風わたる
	清末和変(?), 風の道
	台風ランド
	銀河の風 たぬき作
	風
	風にまっつ
夢	深海の夢
	気球に夢をのせて～海よりも高く伸びよ生命へ～
	夢のかけはし
	夢でみた世界、海底の春
	夢の国へ、黒から白へ、すっきり、はじまり
ゆめ	ゆめ
dream	Over the Dream !
道	道
	さんどう(参道, 産道)
	清末和変(?), 風の道
	見出された道
	道標
みち	みち…
世界	失われていない世界
	新しい世界から現実へ
	夢でみた世界、海底の春
	深世界 variety in unit
world	海仲(ちゅう) world
春	春野遊
	春野山(車窓の桜)
	夢でみた世界、海底の春
	もうすぐ春ですよ
spring	Spring
深	深海の夢
	湧きあがる深海
	深海から未来へー旅たちー
	深世界 variety in unit
はじまり	はじまり
	はじまりの海 キラキラとイキイキとわたしたちの遊園地
	夢の国へ、黒から白へ、すっきり、はじまり
はじまる	ケンカ 今はじまる、(裏に)神の手が今のべる
飛翔	そらへの飛翔
	飛翔
	飛翔
	飛翔

表3-2 切り絵で多い題名

湧	大混乱からの湧出
	湧きあがる
	湧く
	湧きあがる深海
空	海→木→空
	空と大地の間, 抑制
そら	そらへの飛翔
(雲)	(雲の上の遊園地)
赤	赤い?
	赤と青のワンダーランド
	赤ずきんちゃんとゆかいな怪物たち ～海の底から～
宇宙	宇宙をのみこんだ魚
	宇宙のメルヘン
	宇宙の遊園地
エネルギー	テーマパークで遊ぼう ～芽吹くエネルギー～
	エネルギーパーク
	エネルギー
木	海→木→空
	塔(倒)木のしずんだ海
樹	エネルギー
出会い	出会い
であい	であいの空間
出会う	出あえてあなたに出会えてよかった
鳥	不死鳥 一豊かなる海へ
	喰惑鳥の襲撃
	火の鳥
光	光への階段
	光を求める金魚
	光と影

ひろがり	未来へのひろがり 異なる観点からの2つの題①海遊ゆうゆう②小さな観点からのひろがり
ひろがる	つながって ひろがって…, 安心…
皆	皆生きている こんでえーねんーそして、皆帰ってきたー
みんな	みんな
未来	未来へのひろがり 深海から未来へー旅たちー みんなと未来で“遊ぼう”
森	森に行けば “あばら”の森
杜(もり)	杜(もり)
山	胎動, 生命, 生きる, 秋○山 春野山(車窓の桜) 山の懐(ふところ)
楽園	よみがえった楽園 タコと共にうぞーむぞーが出て来た(楽園) (昔楽苑)

「海」や「遊園地」や「生命」に関するものや「風」などがあげられている。図3および図4は海と

風と分類された切り絵の作品である。



図3. 「海」と分類された切り絵の一例
(但し、表にはない。)



図4. 「風」と分類された切り絵の一例

遊園地は普遍的とは言いにくい感じであるが、海や生命や風などは普遍的なものと言えよう。非普遍的なものは「焼き芋」や「男一人女四人物語り」などはこの時の非普遍的なものと言える。どちらにも考えられるものとした、「陰と陽」や「慈」や「執念」などは普遍的なものに通じるものであろう。ここでは無題と題名をつけているのが2個あり、「つけられず」もあって、切り絵には題名がつけにくいことが想像される。

参考文献

- 馬場謙一 1992 精神分析総論—歴史と展望— 心理臨床大事典 894 培風館
- 樋口和彦、岡田康伸編著 2000 ファンタジーグループ入門 創元社
- 樋口和彦、岡田康伸編著 2007 イメージによるグループワークの実際—ファンタジーグループの体験から
- ユング 高橋義孝他訳 1987 心理学的類型 171,202 人文書院
- 岡田康伸 1992 元型の諸相 氏原寛他 心理臨床大事典 1022 培風館

Abstract

What Is Collective Unconscious?: Examining the Activities of “Fantasy Group”

Yasunobu OKADA

In this paper, the author examines what collective unconsciousness C. G. Jung advocated is. In order to do it, the author utilized “fantasy group” (which is made by Kazuhiko Higuchi on the basis of Jung theory). What the author paid special attention to in the activities of “fantasy group” was to do finger paintings, and to compose cut-and-paste pictures. Through the observation and examination of those finger paintings and cut-and-paste pictures, the author presumed titles of their works to be produced by what is universal, or motivated by experience, or created by society. So, the author examines them and tries to show what the author considers collective unconsciousness. In the following paper, the author will continue to research collective unconsciousness by these data.

Key words : finger paintings, cut-and-paste pictures, collective unconsciousness